

平成 24 年度第 3 回県政世論調査（抜粋）

「あいちの教育に関するアクションプランⅡ」では、取組の視点として「家庭・地域・学校それぞれの主体性ある取組と連携の強化」を掲げていることから、道徳性・社会性の向上に関する県民の意識・実態を把握し、今後の取組につなげていくために、平成 24 年度第 3 回県政世論調査において、以下のとおり調査を実施した。

◎ 調査項目

[家庭・地域における教育の推進]

- (1) 子どもたちの道徳性・社会性を育むため気をつけていること
- (2) 社会全体の道徳性・社会性を向上していくための効果的な取組
- (3) 子どもたちを育むため家庭などで気をつけていること
- (4) 公共の場で周りの人のために気をつけていること
- (5) 自転車運転時に周りの人のために気をつけていること

◎ 調査対象及び回答者数

- 1 調査対象 愛知県内に居住する 20 歳以上の男女 3,000 人
- 2 回答者数 1,624 人

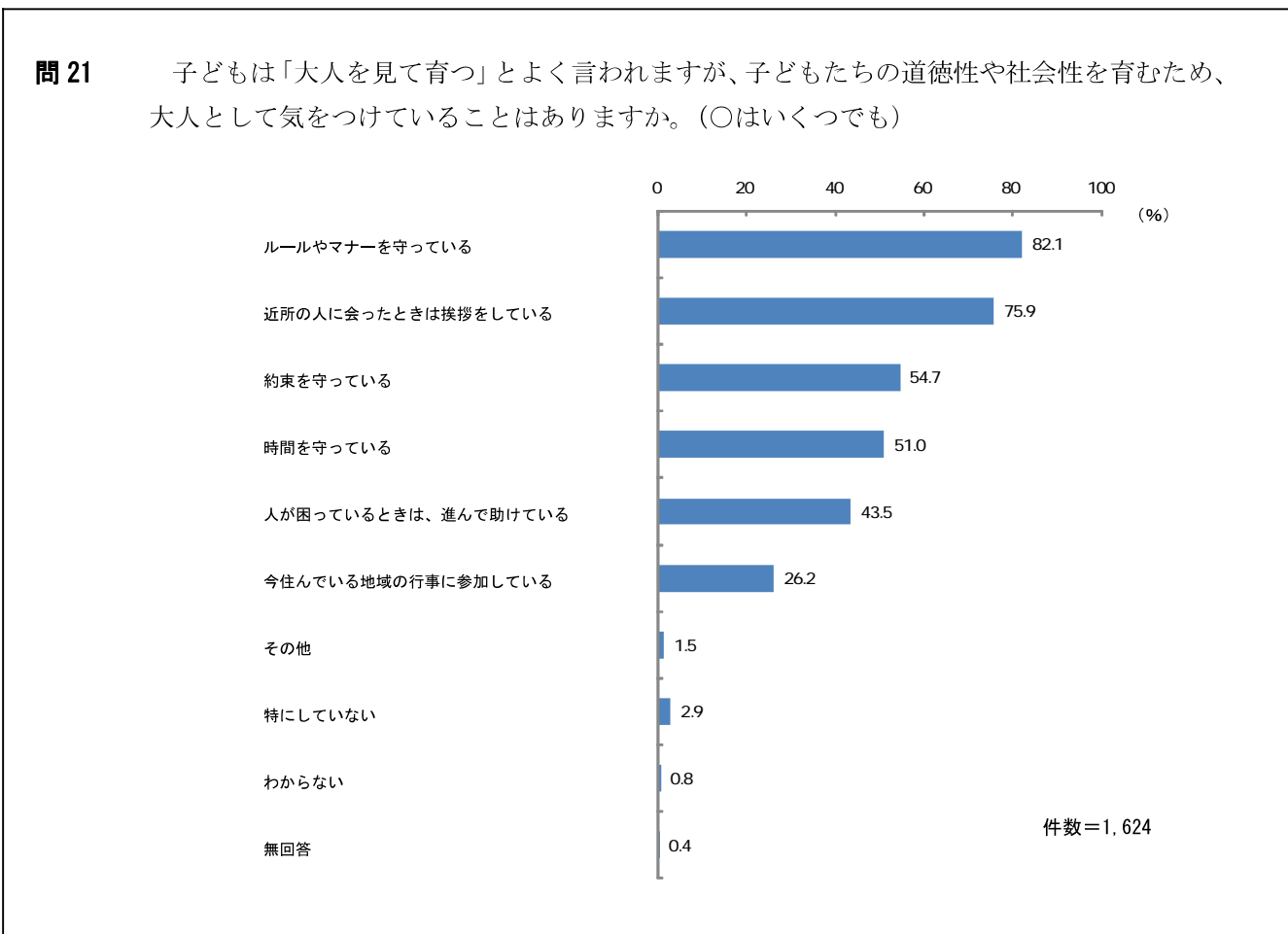
◎ 調査時期

平成 24 年 11 月 11 日～平成 24 年 11 月 30 日

4 家庭・地域における教育の推進

(1) 子どもたちの道徳性・社会性を育むため気をつけていること

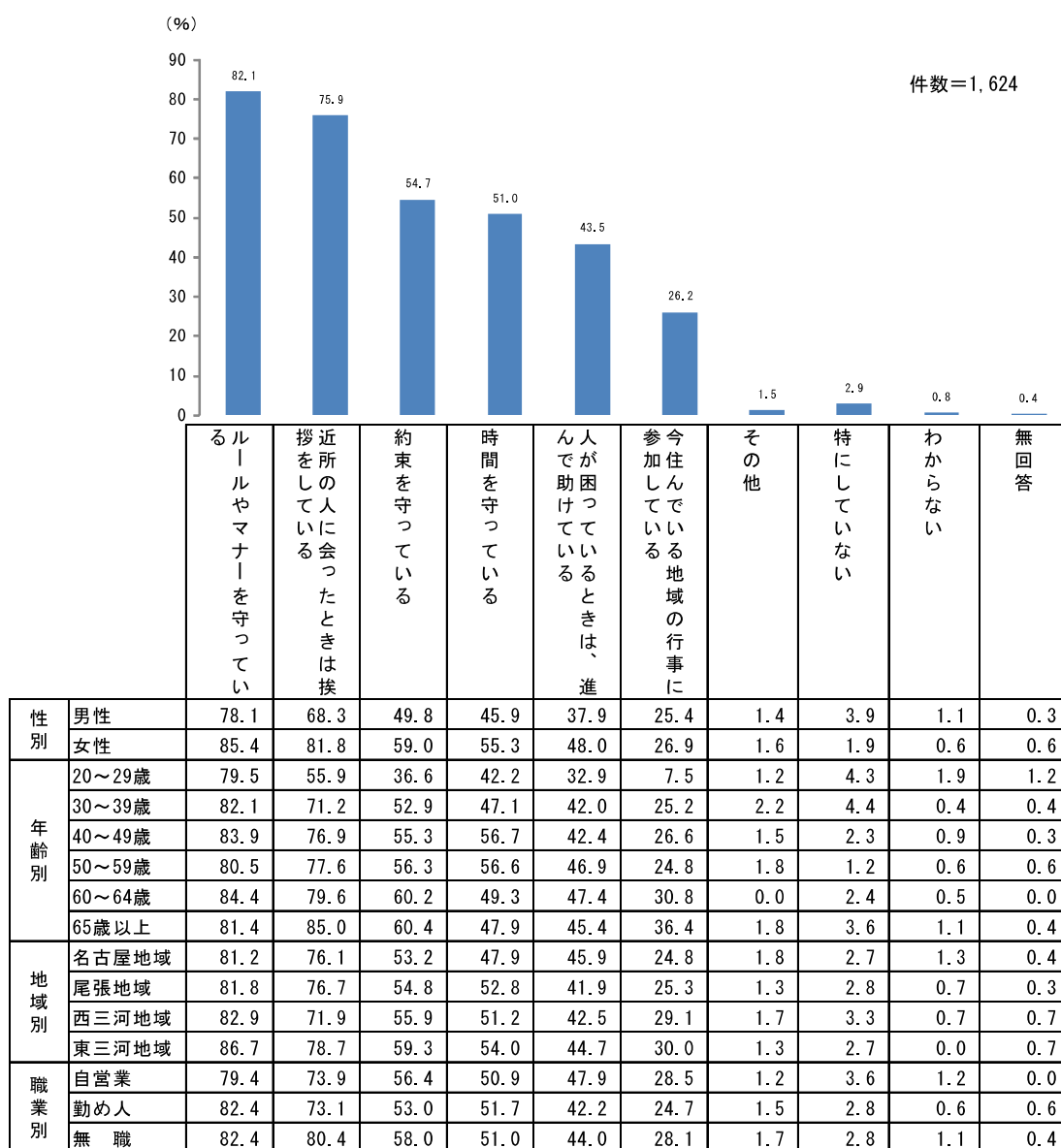
「ルールやマナーを守っている」が82.1%



子どもたちの道徳性・社会性を育むため気をつけていることについて、「ルールやマナーを守っている」と答えた人の割合が、82.1%で最も高く、次いで「近所の人に会ったときは挨拶をしている」(75.9%)、「約束を守っている」(54.7%)の順になっている。

子どもたちの道徳性・社会性を育むため気をつけていること（性別、年齢別、地域別、職業別）

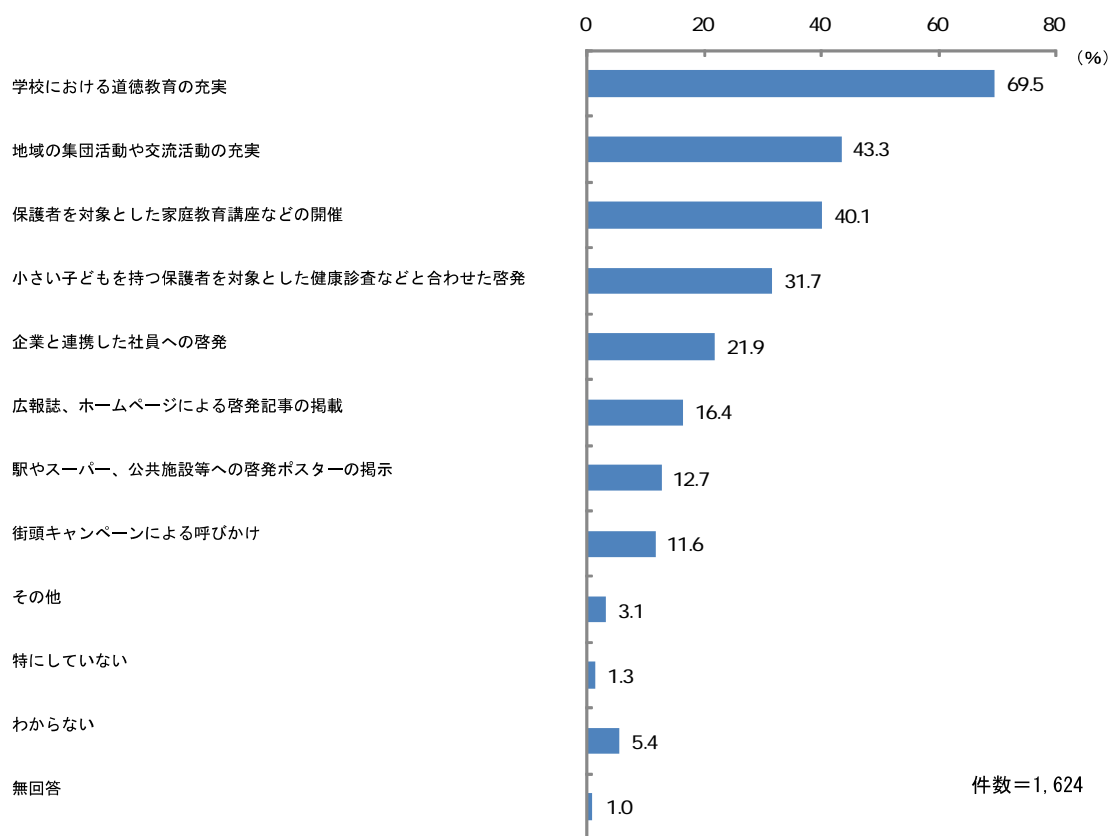
- ◆性別で見ると、「近所の人に出会ったときは挨拶をしている」と答えた人の割合は、女性（81.8%）が高く、男性（68.3%）で低くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「近所の人に出会ったときは挨拶をしている」と答えた人の割合は、65歳以上（85.0%）で最も高く、年代が下がるほど低くなっている。
- ◆地域別で見ると、「近所の人に出会ったときは挨拶をしている」と答えた人の割合は、東三河地域（78.7%）が高く、西三河地域（71.9%）で低くなっている。
- ◆職業別で見ると、「近所の人に出会ったときは挨拶をしている」と答えた人の割合は、無職（80.4%）が高く、勤め人（73.1%）で低くなっている。



(2) 社会全体の道徳性・社会性を向上していくための効果的な取組

「学校における道徳教育の充実」が69.5%

問 22 地域・家庭を含めた社会全体の道徳性・社会性を向上していくために、どのような取組が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)



社会全体の道徳性・社会性を向上していくための効果的な取組について、「学校における道徳教育の充実」と答えた人の割合が、69.5%で最も高く、次いで「地域の集団活動や交流活動の充実」(43.3%)、「保護者を対象とした家庭教育講座などの開催」(40.1%)の順になっている。

社会全体の道徳性・社会性を向上していくための効果的な取組（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◆性別で見ると、「小さい子どもを持つ保護者を対象とした健康診査などと合わせた啓発」と答えた人の割合は、女性（36.4%）で高く、男性（25.8%）で低くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「小さい子どもを持つ保護者を対象とした健康診査などと合わせた啓発」と答えた人の割合は、20代（46.6%）で高く、65歳以上（19.3%）で低くなっている。
- ◆地域別で見ると、「小さい子どもを持つ保護者を対象とした健康診査などと合わせた啓発」と答えた人の割合は、西三河地域（34.4%）で高く、東三河地域（25.3%）で低くなっている。
- ◆職業別で見ると、「学校における道徳教育の充実」と答えた人の割合は、自営業（78.8%）で高く、勤め人（67.5%）で低くなっている。

